

担当講座	総合診療医学講座	問合せ先	共通基盤看護学講座
分野責任者	下沖 収 教授	連絡先	内線5400
担当教員	(総合診療医学講座) 下沖 収 教授、大間々 真一 准教授、高橋 智弘 講師、山田 哲也 助教、遠藤 秀彦 非常勤講師、菊地 大輝 非常勤講師、加藤 博孝 非常勤講師、高橋 宗康 非常勤講師、坪井 潤一 非常勤講師 (座婦人科学講座) 小山 理恵 特任教授 (共通基盤看護学講座) 菖蒲澤 幸子 教授、佐藤 奈美枝 准教授、伊藤 奈央 講師 (地域包括ケア講座) 遠藤 太 教授、岩渕 光子 教授、野里 同 准教授、熊地 美枝 准教授 (成育看護学講座) 高橋 亮 教授、蛸崎 奈津子 教授、遊田 由希子 准教授 (看護専門基礎講座) 遠藤 龍人 教授		
人材育成の基本理念	保健医療福祉分野の臨床的、実践的な視点から、地域のあらゆる人々に対しての支援ならびに諸問題を解決することができる人材を育成する。また、多職種の人々と連携・協働できる学際的能力を身につけた人材を育成する。		
主な研究内容	保健、医療、看護、福祉、健康に関して多角的かつ学際的に研究する。		
教育成果 (アウトカム)	教育成果	該当するディプロマポリシー	
	① 保健医療福祉に関する最新の知見を学び、現状と課題を認識することができる。 ② 研究を行う基本的能力を身につけ、自ら研究課題を立案、研究を遂行し、直面している課題の解決方法を見出すことができる。 ③ ①②の教育成果から保健医療福祉分野の諸問題を解決することができる人材に到達する。	1,2,3,4,5,6	
達成目標	達成目標	対象科目	
	(1)生命科学や、医療行為のための基本的な知識・技能を活用できる。	医学概論、メンタルヘルスクエア特論	
	(2)計画に従って適切な研究を実施できる。	特別研究Ⅰ・Ⅱ	
	(3)研究結果を適切にまとめ、発表できる。	総合診療医学Ⅰ、特別研究Ⅰ・Ⅱ	
	(4)高い専門知識や熟練した技能・技術で、多職種連携業務に貢献できる。	地域医療学Ⅰ・Ⅱ、多職種連携チーム医療、保健医療福祉組織管理特論、保健医療福祉組織管理演習、保健医療福祉人材管理特論、保健医療福祉経営資源管理特論、保健医療福祉情報管理特論、ヘルスマネジメント特論、ヘルスマネジメント演習、ヘルスコミュニケーション特論、ヘルスコミュニケーション演習、高齢者健康科学特論、臨床実践ケア特論、メンタルヘルスクエア特論、ケアの倫理特論、コンサルテーション特論、地域包括ケア特論、ヘルスプロモーション特論、子ども保健医療福祉学特論、国際保健医療学特論、ウィメンズヘルスクエア特論、健康情報学特論	
	(5)次世代の育成に貢献できる。	特別研究Ⅰ・Ⅱ、ケアの倫理特論、コンサルテーション特論	
	(6)保健医療福祉分野に関する科学論文を講読することができる。	総合診療医学Ⅰ・Ⅱ、地域医療学Ⅰ、保健医療福祉組織管理特論、保健医療福祉組織管理演習、保健医療福祉人材管理特論、保健医療福祉経営資源管理特論、保健医療福祉情報管理特論、ヘルスマネジメント特論、ヘルスマネジメント演習、ヘルスコミュニケーション特論、ヘルスコミュニケーション演習、高齢者健康科学特論、臨床実践ケア特論、メンタルヘルスクエア特論、ケアの倫理特論、コンサルテーション特論、地域包括ケア特論、ヘルスプロモーション特論、子ども保健医療福祉学特論、国際保健医療学特論、ウィメンズヘルスクエア特論、健康情報学特論	
	(7)高度な専門的知識と倫理観をもつ実践力を身につけることができる。	地域医療学Ⅰ・Ⅱ、保健医療福祉組織管理特論、保健医療福祉組織管理演習、保健医療福祉人材管理特論、保健医療福祉経営資源管理特論、保健医療福祉情報管理特論、ヘルスマネジメント特論、ヘルスマネジメント演習、ヘルスコミュニケーション特論、ヘルスコミュニケーション演習、高齢者健康科学特論、臨床実践ケア特論、メンタルヘルスクエア特論、ケアの倫理特論、コンサルテーション特論、地域包括ケア特論、ヘルスプロモーション特論、子ども保健医療福祉学特論、国際保健医療学特論、ウィメンズヘルスクエア特論、健康情報学特論	
資格取得等	特になし。		
履修に関する情報	勤務等で講義に出席できない場合は、日程調整等に応じる。		

●在学中に履修できるカリキュラム

区分		配当年次	科目名		開講	コマ数	単位	修了までに 必要な単位	備考
研究特論	選択必修	1年	講義	総合診療医学1	通年	8	1	20単位	※20単位以上の取得可
		1年	講義	地域医療学1	通年	8	1		
		2年	演習	総合診療医学2	通年	8	1		
		2年	演習	地域医療学2	通年	8	1		
		1・2年	講義	保健医療福祉組織管理特論	前期	15	2		
		1・2年	演習	保健医療福祉組織管理演習	後期	15	2		
		1・2年	講義	保健医療福祉人材管理特論	後期	15	2		
		1・2年	講義	保健医療福祉経営資源管理特論	前期	15	2		
		1・2年	講義	保健医療福祉情報管理特論	後期	8	1		
		1年	講義	ヘルスマネジメント特論	前期	8	1		
		1年	演習	ヘルスマネジメント演習	前期	15	2		
		1・2年	講義	ヘルスコミュニケーション特論	前期	8	1		
		1・2年	演習	ヘルスコミュニケーション演習	後期	15	2		
		1年	講義	高齢者健康科学特論	前期	8	1		
		1年	講義	臨床実践ケア特論	前期	15	2		
		1・2年	講義	メンタルヘルスクア特論	通年	15	2		
		1年	講義	ケアの倫理特論	後期	8	1		
		1年	講義	コンサルテーション特論	通年	15	2		
		1・2年	講義	地域包括ケア特論	通年	15	2		
		1・2年	講義	ヘルスプロモーション特論	後期	8	1		
		1年	講義	子ども保健医療福祉学特論	前期	15	2		
		1・2年	講義	国際保健医療学特論	後期	15	2		
		1・2年	講義	ウィメンズヘルスクア特論	後期	15	2		
※ ※ ※	必修	1年	演習	特別研究Ⅰ（中間審査）	通年	15コマ	2	4単位	
	必修	2年	演習	特別研究Ⅱ（論文作成）	通年	15コマ	2		

※他分野の単位取得は分野責任者に相談の上、教務課へ連絡してください。

●各科目の授業計画

地域総合医学 保健医療福祉コース

コード	MM12261010				MM12261020				MM12261030				MM12261040			
科目	総合診療医学1				地域医療学1				総合診療医学2				地域医療学2			
科目責任者	大間々真一				下沖収				下沖収				下沖収			
担当者	大間々真一、高橋智弘、菊地大輝				下沖収、坪井潤一、大間々真一、高橋智弘				下沖収、大間々真一、高橋智弘、高橋宗康				下沖収、坪井潤一、遠藤秀彦、加藤博孝			
会場	内丸メディカルセンター				内丸メディカルセンター				内丸メディカルセンター				内丸メディカルセンター			
区分等	区分	講義	単位	1	区分	講義	単位	1	区分	演習	単位	1	区分	演習	単位	1
	回数	通年8コマ	配当年次	1	回数	通年8コマ	配当年次	1	回数	通年8コマ	配当年次	2	回数	通年8コマ	配当年次	2
主な授業内容	総合診療に関わる各種資料、論文抄読、研究発表手法				地域医療課題の解析と課題解決方法				総合診療に関わる研究を進める手法、研究ステップ				BCPを含む災害時の対応や病院経営マネジメント			
教育成果	総合診療研究に関する論文を渉猟し、研究発表への活用と実際の研究発表ができるようになる。				超高齢社会の到来による日本の医療提供体制の変容、地域医療構想や医療・介護・福祉連携の課題などについての情報収集を行い、課題解決に繋げる方略と研究計画立案方法を立案できるようになる。				総合診療や地域医療に関するリサーチクエスチョンから研究デザイン、研究実施までの具体的なステップを学び、実際の研究に関わる研究成果を参照しながら、自らの研究課題をまとめていく科学的手法を修得することができる。				東日本大震災時の対応事例を検証し、BCPならびにリスクマネジメント、さらには病院経営に必要な各種マネジメントについて説明できる。学びにあたり地域医療に関する論文や研究成果を抄読し、地域社会参加型研究について述べることができる。			
到達目標	分野の達成目標 (3) (6)				分野の達成目標 (4) (6) (7)				分野の達成目標 (6)				分野の達成目標 (4) (7)			
特記事項	各講義に対する事前学修の時間は最低30分を要し、内容は担当教員に確認すること。 全講義後終了後は速やかに「受講票・履修報告書」をWebClassにアップロードすること。 「受講票・履修報告書」の記載が不十分な場合は、担当教員がコメントをつけて返却するので、期日までに再提出すること。															
評価方法	「受講票・履修報告書」により評価する。成績は、ABCD (A:100～80点、B:79～70点、C:69～60点、D:59～0点) の4段階評価とし、ABC (60点以上) を合格とする (60点未満は再提出)。															
講義日程	時間割参照															
教科書参考書	日本プライマリ・ケア連合学会基本研修ハンドブック (改訂3版) 南山堂															

コード	MM12261050				MM12261060				MM12261070				MM12261080			
科目	保健医療福祉組織管理特論				保健医療福祉組織管理演習				保健医療福祉人材管理特論				保健医療福祉経営資源管理特論			
科目責任者	菖蒲澤幸子				菖蒲澤幸子				菖蒲澤幸子				菖蒲澤幸子			
担当者	菖蒲澤幸子				菖蒲澤幸子、下沖収				菖蒲澤幸子				菖蒲澤幸子、高橋亮			
会場	矢巾キャンパス				矢巾キャンパス				矢巾キャンパス				矢巾キャンパス			
区分等	区分	講義	単位	2	区分	演習	単位	2	区分	講義	単位	2	区分	講義	単位	2
	回数	前期15コマ	配当年次	1・2	回数	後期15コマ	配当年次	1・2	回数	後期15コマ	配当年次	1・2	回数	前期15コマ	配当年次	1・2
主な授業内容	組織運営に関する諸理論 組織における人間の行動 保健医療福祉分野での組織管理				保健医療福祉分野における関心領域の国内外の文献学習とクリティーク 保健医療福祉分野における関心領域の研究手法の探求				保健医療福祉分野における継続教育プログラム リーダーシップや人材育成に必要な知識、スキルの習得				社会保障制度の動向 保健医療福祉分野における制度政策 保健医療福祉分野における経済学的視点			
教育成果	組織運営に関する諸理論、組織における人間の行動について理論を学ぶ。さらに、質の高いケアを提供するために保健医療福祉分野での組織管理の知識を修得し、管理者として必要な知識を身につけることができる。				保健医療福祉分野における関心領域の国内外の文献学習、クリティークを行う。さらに、自己の特別研究に関連のある保健医療福祉分野での研究課題を探索できる。				保健医療福祉分野における継続教育プログラムについて学習する。さらに保健医療福祉分野における質向上のためのリーダーシップや人材育成に必要な知識、スキルを修得し、管理者として必要な知識を身につけることができる。				社会保障制度の動向を踏まえ、保健医療福祉分野における制度政策を概観する。併せて、保健医療福祉分野における経済動向に関する知識を修得することで多角的な視野を持つことができる。			
S 目 B 標 達 O	分野の達成目標 (4) (6) (7)				分野の達成目標 (4) (6) (7)				分野の達成目標 (4) (6) (7)				分野の達成目標 (4) (6) (7)			
特記事項	各講義に対する事前学修の時間は最低30分を要し、内容は担当教員に確認すること。 全講義後終了後は速やかに「受講票・履修報告書」をWebClassにアップロードすること。 「受講票・履修報告書」の記載が不十分な場合は、担当教員がコメントをつけて返却するので、期日までに再提出すること。															
評価方法	「受講票・履修報告書」により評価する。成績は、ABCD (A:100～80点、B:79～70点、C:69～60点、D:59～0点) の4段階評価とし、ABC (60点以上) を合格とする (60点未満は再提出)。															
講義日程	時間割参照															
教科書参考書																

●各科目の授業計画

地域総合医学 保健医療福祉コース

コード	MM12261090				MM12261100				MM12261110				MM12261120			
科目	保健医療福祉情報管理特論				ヘルスマネジメント特論				ヘルスマネジメント演習				ヘルスコミュニケーション特論			
科目責任者	菖蒲澤幸子				佐藤奈美枝				佐藤奈美枝				佐藤奈美枝			
担当者	菖蒲澤幸子				佐藤奈美枝、伊藤奈央				佐藤奈美枝、伊藤奈央				佐藤奈美枝、伊藤奈央			
会場	矢巾キャンパス				矢巾キャンパス				矢巾キャンパス				矢巾キャンパス			
区分等	区分	講義	単位	1	区分	講義	単位	1	区分	演習	単位	2	区分	講義	単位	1
	回数	後期8コマ	配当年次	1・2	回数	前期8コマ	配当年次	1	回数	前期15コマ	配当年次	1	回数	前期8コマ	配当年次	1・2
主な授業内容	保健医療福祉の情報化の変遷と現況、情報倫理、情報リテラシー、情報保健医療福祉の情報化の将来				セルフマネジメントの概念 自己効力感				ライフサイクルにおける健康マネジメント				コミュニケーションの基本と特性 ヘルスコミュニケーションの概念			
教育成果	ICT化が急速に発展している保健医療福祉の情報化の変遷と現況を学び、保健医療福祉分野で必要な、最新の情報倫理、情報リテラシーを修得する。さらに保健医療福祉の情報化の将来の姿を述べることができる。				ヘルスケアの概念、理論を学び、人が人生を歩む過程で直面するさまざまな困難とその背景を説明することができる。人をケアすることの基本としての対象理解、援助方法の策定とアプローチについて修得する。学際的な視点でヘルスケアについて述べることができる。				対人援助にかかわる諸問題を、体系的に把握し、対象の抱える問題、課題解決に関する文献学習、クリティークを行い、人へのケアと支援に関する方法・技術、指導に関する専門知識を修得することができる。				ヘルスコミュニケーションの概念について理解し、保健医療福祉の場面で様々な課題をもつ対象者の立場に配慮したコミュニケーションを修得することができる。			
S 目 B 標 達 O	分野の達成目標 (4) (6) (7)				分野の達成目標 (4) (6) (7)				分野の達成目標 (4) (6) (7)				分野の達成目標 (4) (6) (7)			
特記事項	各講義に対する事前学修の時間は最低30分を要し、内容は担当教員に確認すること。 全講義後終了後は速やかに「受講票・履修報告書」をWebClassにアップロードすること。 「受講票・履修報告書」の記載が不十分な場合は、担当教員がコメントをつけて返却するので、期日までに再提出すること。															
評価方法	「受講票・履修報告書」により評価する。成績は、ABCD (A:100～80点、B:79～70点、C:69～60点、D:59～0点) の4段階評価とし、ABC (60点以上) を合格とする (60点未満は再提出)。															
講義日程	時間割参照															
教科書 参考書					ミルトン・メイヤロフ(田村真,向野宜之訳).ケアの本質 生きることの意味,ゆりみ出版,2001 *その他の書籍については随時紹介する								・石川ひろの.保健医療専門職のためのヘルスコミュニケーション学入門,大修館書店,2020 ・グループマン・ジェローム他(堀内志奈訳).決められない患者たち,医学書院,2013 *その他の書籍については随時紹介する			

コード	MM12261130				MM12261140				MM12261150				MM12261160			
科目	ヘルスコミュニケーション演習				高齢者健康科学特論				臨床実践ケア特論				メンタルヘルスケア特論			
科目責任者	佐藤奈美枝				野里同				野里同				遠藤太			
担当者	佐藤奈美枝、伊藤奈央、山田哲也				野里同、高橋智弘				野里同、大間々真一				遠藤太、熊地美枝			
会場	矢巾キャンパス				矢巾キャンパス				矢巾キャンパス				矢巾キャンパス			
区分等	区分	演習	単位	2	区分	講義	単位	1	区分	講義	単位	2	区分	講義	単位	2
	回数	後期15コマ	配当年次	1・2	回数	前期8コマ	配当年次	1	回数	前期15コマ	配当年次	1	回数	通年15コマ	配当年次	1・2
主な授業内容	事例、コミュニケーション手段 ロールプレイ				高齢者の健康科学に関する知識				臨床で実践されているエビデンスに基づいた ケアに関する知識				感情労働の理解と異和感の対自化による自らの感情の取り扱い方に関する知識と技術（メンタルヘルスケア・マネジメント）			
教育成果	患者・市民と医療者との協働健康教育について戦略的視点をもつことができる。ロールプレイを通して自分の伝えたい事をどのように相手に理解してもらうのか、スキルとコミュニケーションの知識、技術を修得することができる。				高齢者の健康問題について学び、ヘルスプロモーションを図り、健康状態を維持・改善するための方策について考察することができる。				臨床の現場で実践されているケアの有効性を裏付けるための実証研究の手法および実証研究（エビデンス）に基づく新たなケアの構築に向けた研究の手法について学び、基本的知識を修得することができる。				対人援助職に要求される感情労働の特性や特徴、生じる種々の影響のほか、生じた異和感の対自化を行う中で、感情労働のポジティブな側面にも目を向けて、自らの「感情」と向き合っていく方策を修得することができる。			
S 目 B 標 達 O	分野の達成目標 (4) (6) (7)				分野の達成目標 (4) (6) (7)				分野の達成目標 (4) (6) (7)				分野の達成目標 (1) (4) (6) (7)			
特記事項	各講義に対する事前学修の時間は最低30分を要し、内容は担当教員に確認すること。 全講義後終了後は速やかに「受講票・履修報告書」をWebClassにアップロードすること。 「受講票・履修報告書」の記載が不十分な場合は、担当教員がコメントをつけて返却するので、期日までに再提出すること。															
評価方法	「受講票・履修報告書」により評価する。成績は、ABCD（A:100～80点、B:79～70点、C:69～60点、D:59～0点）の4段階評価とし、ABC（60点以上）を合格とする（60点未満は再提出）。															
講義日程	時間割参照															
教科書 参考書	・石川ひろの.保健医療専門職のためのヘルスコミュニケーション学入門,大修館書店,2020 ・グループマン・ジェローム他(堀内志奈訳).決められない患者たち,医学書院,2013 ＊その他の書籍については随時紹介する。												武井麻子:思いやる心は傷つきやすい: パンデミックの中の感情労働,創元社2021 宮本真巳:「異和感」と援助者アイデンティティ,日本看護協会出版会1996			

コード	MM12261170				MM12261180				MM12261190				MM12261200			
科目	ケアの倫理特論				コンサルテーション特論				地域包括ケア特論				ヘルスプロモーション特論			
科目責任者	遠藤太				熊地美枝				岩渕光子				岩渕光子			
担当者	遠藤太、熊地美枝				熊地美枝、遠藤太、伊藤奈央				岩渕光子、下沖収				岩渕光子、山田哲也			
会場	矢巾キャンパス				矢巾キャンパス				矢巾キャンパス				矢巾キャンパス			
区分等	区分	講義	単位	1	区分	講義	単位	2	区分	講義	単位	2	区分	講義	単位	1
	回数	後期8コマ	配当年次	1	回数	通年15コマ	配当年次	1	回数	通年15コマ	配当年次	1・2	回数	後期8コマ	配当年次	1・2
主な授業内容	ケアの実践における倫理的葛藤の解決法				コンサルテーション活動を展開するための知識、技術				地域特性、地域包括ケア構築				健康行動とヘルスプロモーション 健康課題に対するアプローチ			
教育成果	様々な分野における対人援助職に生じる倫理的ジレンマ（人権侵害・意思決定過程の問題・虐待等）を自覚し、倫理的な意思決定を行うための考え方、方策を修得することができる。				対人援助職におけるコンサルテーションの本質やコンサルタントの役割を理解し、コンサルティ（相談者）のニーズや能力をふまえたアプローチを修得することができる。				へき地を含む地域の特性およびヘルスニーズをふまえ、地域に根ざしたケア体制づくりを進める方法を修得することができる。				人々の健康に関する行動を決定づける要因と背景への理解を深め、行動変容を促すための効果的な教育・環境アプローチを修得することができる。			
S 目 到 標 達 O	分野の達成目標 (4) (5) (6) (7)				分野の達成目標 (4) (5) (6) (7)				分野の達成目標 (4) (6) (7)				分野の達成目標 (4) (6) (7)			
特記事項	各講義に対する事前学修の時間は最低30分を要し、内容は担当教員に確認すること。 全講義後終了後は速やかに「受講票・履修報告書」をWebClassにアップロードすること。 「受講票・履修報告書」の記載が不十分な場合は、担当教員がコメントをつけて返却するので、期日までに再提出すること。															
評価方法	「受講票・履修報告書」により評価する。成績は、ABCD（A:100～80点、B:79～70点、C:69～60点、D:59～0点）の4段階評価とし、ABC（60点以上）を合格とする（60点未満は再提出）。															
講義日程	時間割参照															
教科書 参考書	アン・ギラガー（宮内信治・小西恵美子訳）スローエシックスと看護のアート.南江堂2022.															

コード	MM12261210				MM12261220				MM12261230				MM12261240			
科目	子ども保健医療福祉学特論				国際保健医療学特論				ウィメンズヘルスケア特論				健康情報学特論			
科目責任者	高橋亮				高橋亮				蛸崎奈津子				遠藤龍人			
担当者	高橋亮				高橋亮				蛸崎奈津子、遊田由希子、小山理恵				遠藤龍人			
会場	矢巾キャンパス				矢巾キャンパス				矢巾キャンパス				矢巾キャンパス			
区分等	区分	講義	単位	2	区分	講義	単位	2	区分	講義	単位	2	区分	講義	単位	1
	回数	前期15コマ	配当年次	1	回数	後期15コマ	配当年次	1・2	回数	後期15コマ	配当年次	1・2	回数	後期8コマ	配当年次	1
主な授業内容	医療機関・児童福祉施設・学校・保育園等における子どもへのケアと発達支援ならびに家族への支援				国際保健活動の実際と課題				ウィメンズヘルスにまつわる諸概念の理解 現代社会における健康課題とその支援				総合診療におけるヘルスリテラシーと意思決定支援			
教育成果	子どもと家族を取り巻く社会や医療の現状に焦点をあて、その実態や背景、および保健・福祉・医療・教育における対応、課題について考察することで、保健医療福祉分野での援助が必要な子どもへの実践的な関りを創造することができる。				国内外の保健医療の課題についてグローバルな視点から多角的かつ学際的に考察することで、国際保健学分野において専門職としての関わりを創造することができる。				マタニティケアやウィメンズヘルスケアにまつわる諸概念を理解し、現代社会における特有の健康課題を抱える対象への実践的な援助を創造することができる。。				Evidence-Based Medicine（EBM）や臨床疫学の概念を学ぶことにより、健康や医療に関わる情報を客観的・批判的に吟味し、患者・支援者の意思決定を支援することができる総合診療専門職への導入基盤を形成できる。			
S 目 到 標 達 O	分野の達成目標 (4) (6) (7)				分野の達成目標 (4) (6) (7)				分野の達成目標 (4) (6) (7)				分野の達成目標 (4) (6) (7)			
特記事項	各講義に対する事前学修の時間は最低30分を要し、内容は担当教員に確認すること。 全講義後終了後は速やかに「受講票・履修報告書」をWebClassにアップロードすること。 「受講票・履修報告書」の記載が不十分な場合は、担当教員がコメントをつけて返却するので、期日までに再提出すること。															
評価方法	「受講票・履修報告書」により評価する。成績は、ABCD（A:100～80点、B:79～70点、C:69～60点、D:59～0点）の4段階評価とし、ABC（60点以上）を合格とする（60点未満は再提出）。															
講義日程	時間割参照															
教科書 参考書	母子愛育会愛育研究所（編）、日本子ども資料年鑑2023、KTC中央出版、2023.				日本国際保健医療学会（編）、実践グローバルヘルス：現場における実践力向上をめざして、杏林書院、2022.								中山健夫.健康・医療の情報を読み解く 健康情報学への招待.第2版、東京、丸善出版、2019			

地域総合医学 保健医療福祉コース

コード																
科目																
科目責任者																
担当者																
会場																
区分等																
主な 授業内容																
ア ウ ト カ ム 教 育 成 果																
S 目 到 B 標 達 O																
特記事項																
評価 方法																
講義日程																
教科書 参考書																

●時間割

地域総合医学 保健医療福祉コース

【前期】	講義時間	月	火	水	木	金	土
1 限	8：50～10：20						基礎科目
2 限	10：30～12：00						
3 限	13：00～14：30		保健医療福祉組織管理特論				
4 限	14：40～16：10					地域医療学1,2	
5 限	18：00～19：30	臨床実践ケア特論	ヘルスマネジメント特論・演習	コンサルテーション特論	総合診療医学1.2	メンタルヘルスケア特論	
			高齢者健康科学特論		子ども保健医療福祉学特論		
6 限	19：40～21：10	地域包括ケア特論	ヘルスマネジメント特論・演習	ヘルスコミュニケーション特論	保健医療福祉経営資源管理特論	特別研究Ⅰ・Ⅱ	
【後期】	講義時間	月	火	水	木	金	土
1 限	8：50～10：20						基礎科目
2 限	10：30～12：00						
3 限	13：00～14：30	保健医療福祉組織管理演習	保健医療福祉人材管理特論				メンタルヘルスケア特論
4 限	14：40～16：10					地域医療学1,2	保健医療福祉情報管理特論
5 限	18：00～19：30	ウィメンズヘルスケア特論	ヘルスコミュニケーション演習	コンサルテーション特論	総合診療医学1.2	健康情報学特論	
				ケアの倫理特論	国際保健医療学特論		
6 限	19：40～21：10	地域包括ケア特論	ヘルスプロモーション特論			特別研究Ⅰ・Ⅱ	

※時間割の調整については相談に応じます。

<履修スケジュール> ※各自記録してください。

【前期】	講義時間	月	火	水	木	金	土
1 限	8：50～10：20						
2 限	10：30～12：00						
3 限	13：00～14：30						
4 限	14：40～16：10						
5 限	18：00～19：30						
6 限	19：40～21：10						

【後期】	講義時間	月	火	水	木	金	土
1 限	8：50～10：20						
2 限	10：30～12：00						
3 限	13：00～14：30						
4 限	14：40～16：10						
5 限	18：00～19：30						
6 限	19：40～21：10						